

地元産業界等と連携した実践的PBLを含む授業科目等の公表

実践的PBL実施状況【2021年度】

授業コード	UMLM14A
授業科目名(英)	社会事業論
授業形態	講義
標準履修年次	3
単位数	2
担当教員名	グエン・チ・ギア
授業の概要	
授業のあらまし	<p>本講義の前半では、ドキュメンタリの鑑賞、事例研究、ディスカッションや教員の説明などを通じて、社会事業論の基礎知識、特に、これまでのボランティア、利潤追求型のビジネスとの相違点・共通点、社会的事業の設計・運営の活動について学び、いかにビジネス的な手法を用いて、創造的に社会的課題の解決に取り組んでいけるのかという考え方について理解を深めることを目的とする。</p> <p>後半では、社会的課題の解決に対する学生の意識を健やかに育てると同時に青森県内企業・組織に対する社会的事業の設計・発表を通じて、学生が実践的なスキル、知識、社会に即応できる能力を身につけることを目指す。</p> <p>社会事業論で学んだ知識は純粋な社会貢献事業だけではなく、企業にとって自らの利益を追求しながら、世界にとっての難問である貧困、環境、社会の問題を完全に解決できるような理想的なビジネス戦略の設計・実施にも応用できるものである。</p>
教育目標との関連	本講義では、社会的課題の解決を目指すビジネス的な手法を平易に把握してもらうことを目標とする。
科目の位置付け (他の科目との関連)	本講義で学んだ知識が経営戦略論や新規事業構論の観点で言う企業の(社会問題を解決すると同時に利潤を追求していく)戦略の設計・実施にも参考となる。
受講に必要な知識・スキル(履修条件等)	自らが関心を持っている社会的課題について調べておくこと
具体的な到達目標	
社会的事業の本質およびその設計、運営を理解できるようになる。また、グループワーク、プレゼンテーションやディスカッションのスキルを持てるようになる。	
授業の内容(テーマ、授業内容、予習・復習の内容および方法)	
第1回	ガイダンス
第2回	社会的事業の真相
第3回	社会的事業の事例研究 ① 障がい者
第4回	社会的事業の事例研究 ② 貧困者
第5回	社会的事業の事例研究 ③ 震災復興

第 6 回	社会的事業の事例研究 ④ ホームレス
第 7 回	社会的事業の事例研究 ⑤ 青森商工会議所 西副会頭による青森の地域課題についての講義
第 8 回	社会的事業の設計作業①
第 9 回	社会的事業の設計作業②
第 10 回	社会的事業の設計作業③
第 11 回	・社会的事業における資源の活動・動員① ・社会的事業の設計作業④
第 12 回	・社会的事業における資源の活動・動員② ・社会的事業の設計作業⑤
第 13 回	『社会的事業の提案』予行練習・確認・修正
第 14 回	(実在組織の関係者に対して)『社会的事業の提案』本番 ※各産官等の機関との連携事業の実施
第 15 回	まとめ・ミニテスト
授業時間外の活動の有・無と内容	
外部ゲストの講演会がある場合、受講生に案内する	
テキスト・参考書	
テキスト	なし
参考書	ゲン・チ・ギア(2020)『冬はあたたかい』(こころの種に栄養を～雪国物語シリーズ)ものの芽舎。
成績評価の基準及び評価方法等	
評価基準	グループワークに積極的に参加していたのか、プレゼンテーションやアイデア提案を通じて、社会事業論の基礎知識を説明できるのか、また、グループワーク、プレゼンテーションやディスカッションが養われているのかどうかを評価する。
評価方法・割合	グループの社会的事業アイデア提案・成果(60%)、ミニテスト(40%)